

11月号他ページの主な記事
2面 本山御尊前で叙任式を執行、5支・東京中央布の後期弘通促進大会
3面 海外教区代表者会議開催、5支・東京房総布 慈念寺の開導会に
4面 特集：第207回本山奉仕 喜びあふれる加行者の声
5面 このよろこびをあなたとともに：2支・清聲寺 古島啓太君
6面 「体験入寺の感想」9支・大法寺 廣田実氏、学校が体育大会で優勝！
7面 門祖日隆聖人物語⑩、ニュース短信
8面

本門佛立宗務機関紙
佛立新聞
THE BUTSURYU SHIMBUN

平成24年11月1日発行
発行所
本門佛立宗務本庁
京都市上京区御前通一条上る東野町110番地(〒602-8377)
電話(075)461-1166(代)
振込口座 京都 18650
発行人 藤本日涌 / 編集人 橋口清遠
購読料加料 一部50円

僧正辞令下付 (代表・吉田日孟師)



深澤日典師・岡日到師・吉田日孟師・藤岡日常師・西村日明師 (寺谷日恒師は当日欠席)



御法門される講有上人

本山高祖会を厳修
晴天に恵まれ各種式典も行う



講有上人の御法門を真剣に聴聞する本堂一杯の参詣者

本山・宥清寺の高祖会が、去る十月七日、第一座に川井日陵上人、第二座に講尊日誠上人、第三座に講有日開上人、第四座に講尊日商上人をそれぞれ奉修導師にお迎えして盛大に奉修され、清々しい秋晴れのもと、本山信徒を始め、当番参詣の第一・三・十支庁、そして他の支庁から三四〇〇名を超える参詣で賑わった。
参詣の内訳は、

法臘50年表彰 (代表・藤本日涌師)



代理・内田淳如師、藤本日涌師、西村清秀師

式典該当の方々

第三座(奉修導師・講有上人)の式典では、高祖会全国奉納金の第一回奉納式、僧正辞令下付、住職任命辞令下付、法臘五拾年教務表彰、住職在位二十五年以上退任教務表彰、宗務総長以下総局員等任命辞令下付、佛立教育専門学校校務表彰、門祖五〇〇記念法要執行行われた。



梶本日商上人



配川宣徳師



西村日要師



面家日瑩上人



モライス教竜師



前島照力師



代理・藤本日涌師



校長・長谷川日堯師



総長・木村日覚師

住職任命辞令下付

また第四座では、去る八月四日・五日に奉修された第四回青少年の一座(四日は前夜祭)におけるご奉公者約六十名の御礼参詣があった。
当日の午前中に会議を行ったメンバーは、午後



高祖会全国奉納金を佐藤総長と西村財務局長が代表して奉納

本山信徒 二〇六九名
当番支庁 六四四名
他の支庁 五〇二名
出座教務 二〇八名
総計 三四二三名
第三座(奉修導師・講有上人)の式典では、高祖会全国奉納金の第一回奉納式、僧正辞令下付、住職任命辞令下付、法臘五拾年教務表彰、住職在位二十五年以上退任教務表彰、宗務総長以下総局員等任命辞令下付、佛立教育専門学校校務表彰、門祖五〇〇記念法要執行行われた。

藤本日涌師が代理拝受
西村 清秀師が代理拝受
(藤本日涌師が代理拝受)
[5] 住職在位二十五年以上退任教務表彰
① 誕生寺 梶本日商上人
③ 佛立寺 面家日瑩上人
[6] 宗務総長以下総局員・宗務員・支庁長任命辞令下付
宗務総長 木村日覚師が代表拝受
[7] 佛立教育専門学校校務表彰
校長 長谷川日堯師が代表拝受
(教頭 莫田清文師)
[8] 門祖日隆聖人五〇〇回御遠誼記念法要 奉修本部役員辞令下付
藤本日涌師が代理拝受

一時からの第四座にお参詣。奉修導師である講尊日商上人より、「御宝前に於いて言上し奉る
平成二十四年 本山宥清寺に於いて奉修せし第四回青少年の一座。当日晴天無事奉修の御礼を言上し奉る哀感納受。
この後、場所を佛立会館一階コミュニケーションプラザ(京都佛立ミュージアム)に移して慰労会が開催され、参加者は互いの奉公を喜び合い、青少年の一座における一連のご奉公を無事に終了した。

恰も門祖日隆大聖人五〇〇遠誼の勝縁に随喜感奮し、遂に二千人の参詣目標をも突破し、善哉々々、その任務を達成せり。
本日、茲に、実行委員会を解散するに当たり、今生人界の想い出を謝し奉る。大慈大悲大恩報謝と御礼言上をいたした。
この後、場所を佛立会館一階コミュニケーションプラザ(京都佛立ミュージアム)に移して慰労会が開催され、参加者は互いの奉公を喜び合い、青少年の一座における一連のご奉公を無事に終了した。

住職在位25年以上退任教務表彰

五五〇役員辞令下付

専門学校辞令下付

総局員等辞令下付

新しい出会いが始まるのだ」とゴールボールと出会う、見事に金メダルに輝いた。いかに心の持ち方が大事か、心の持ち方一つで未来がいかに変わるかがよく分かる。開導聖人は御教歌に「すればする身体を己れ持ながらでけぬ」と云は心也けり」とお示しである。弘通年度末の月を迎え「だめだなあ」と嘆くばかりの人はいないだろうか。明年の門祖五〇〇報恩ご奉公を円成させるためにも「でけぬ」という心を「ヨシッ! やろう」という心に切り替えて励もう。

11月のごよみ
難 文永元年(二二六四)、高祖は天津の工藤吉隆の招きに応じ赴く途中、夕闇せまる東条小松原にて、東条景信の率いる数百人の襲撃に遭われた。御弟子鏡忍坊は無惨な戦死を逃げ、急報に接し、かけた工藤吉隆も乱戦の中に消え、お祖師さまは眉間に三寸ばかりの疵を蒙られた。
15日 七・五・三 私達の幼い子が無事に成長させていただいた御礼とあわせ、今後も無事成長でき、かつ法灯相続のできるようにお詣りさせていただく日である。ゆめゆめ世間の親のような見栄つばりのコンクールにならぬよう用心を!
23日 勤勞感謝の日 勤勞を貴び、生産を祝い、国民たがい感謝しあうとの趣旨で定められた。「働」という文字は和製の漢字だが、人が動き、ひとを築くという日本人の思想である。

一言
もう一つのオリンピックと呼ばれるロンドンパラリンピックが八月二十九日から九月九日まで開催され、ゴールボール女子代表チームが見事、金メダルに輝いた。この競技は視覚障害者の団体球技で、一チーム三人で鈴の入ったボールをゴールに向けて転がし得点を競うのだが、チームの中に浦田理恵と言う選手がいる。浦田選手は網膜色素変性症という病気で、二十歳を過ぎてから左目は失明、右目も視野が九十五%失われてしまった。彼女には教師になる夢があったが、その夢を無惨にも打ち砕かれ、自暴自棄となり、引きこもりの生活が続いた。しかし、家族・友達からの支えを励みに「何もできないのではなく、何もやるうとしないなかつた自分」に気付く。そして「自分の可能性は自分次第でどれだけでも広がる。勇気を出し、一歩を踏み出すこと」によって、新しい世界新しい出会いが始まるのだ」とゴールボールと出会う、見事に金メダルに輝いた。いかに心の持ち方が大事か、心の持ち方一つで未来がいかに変わるかがよく分かる。開導聖人は御教歌に「すればする身体を己れ持ながらでけぬ」と云は心也けり」とお示しである。弘通年度末の月を迎え「だめだなあ」と嘆くばかりの人はいないだろうか。明年の門祖五〇〇報恩ご奉公を円成させるためにも「でけぬ」という心を「ヨシッ! やろう」という心に切り替えて励もう。

- 今日の宗門行事予定
- 13日 高祖会全国奉納金第二回奉納式
 - 23~25日 本山奉仕「壮年の部」
 - 27日 支庁・布教区青年会代表者会議
 - 28日 第二〇一回臨時宗会 第65回百万霊会追善法要
 - 1日 灯台記念日
 - 3日 文化の日 十一月三日の明治節が、昭和二十三年から改めて文化の日制定された。戦争をなくし、福祉国家を建設する旨を宣言する平和憲法を公布したこの日が、平和を愛し、文化をすすめる国民の祝日として定められた。
 - 7日 立冬
 - 9日 太陽暦採用記念日
 - 11日 世界平和記念日
 - 11日 小松原御法難 文永元年(二二六四)、高祖は天津の工藤吉隆の招きに応じ赴く途中、夕闇せまる東条小松原にて、東条景信の率いる数百人の襲撃に遭われた。御弟子鏡忍坊は無惨な戦死を逃げ、急報に接し、かけた工藤吉隆も乱戦の中に消え、お祖師さまは眉間に三寸ばかりの疵を蒙られた。